

2023年度 附設寮「八太郎館」Q&A

Q1 どのような生徒が寮生活に向いていますか。

A1 言うまでもなく寮生活は集団生活です。家庭に比べハード面・ソフト面で何かと制約のある環境ですが、そのことに対する生徒及び保護者双方の理解がないとうまくいきません。中学1年生から高校1年生までは4人部屋です。そういった中で、寮の規則を守る、勉強・食事・清掃・お金の管理・携帯電話の管理・書類の手続きなど自分のことは自分で正しくできる、自ら挨拶をして円滑に対人関係を構築することができるか、最低限の生活能力があるか、先生や友人に言いたいことは自分の言葉で伝えることができるかなどお子さまの適性を十分に見極めて、適切に判断してください。

Q2 入寮に際し、保護者の心構えとしてどのようなことがありますか。

A2 保護者の一方的な期待や思惑で入寮させることはやめてください。お子さまが不本意な状態で寮生活をさせても、決して上手くいきません。十分に納得した上で寮生活を送らせることが大切です。そして、保護者の方にも、寮独自の規則や取り組みがあることを理解し、納得していただく必要があります。個人の都合により個別に融通を利かせることはできません。そして、お子さまを寮に預けるということは「かわいい子に旅をさせる」ことに似ています。一人旅にハプニングはつきもの。少々の困難や逆境に直面しても自分で問題を解決させ、保護者はそれを遠くからあたたかく見守るという覚悟や忍耐がなければ有益な旅にはなりません。なお、寮生の生活面・体調面などに関して学校から寮の要請があった場合には、すぐに寮にきていただくことになります。

Q3 現在の寮生数やスタッフはどうなっていますか。

A3 4月現在で中学生252人(女子84人、男子168人)、高校生427人(女子137人、男子458人)の計679人です。8名(男性5名、女性3名)の寮主任教員が夕方からの時間、生活・学習指導を担当しています。夜は寮長・寮母夫妻をはじめとした寮専属スタッフが4名、ローテーションによる学校職員が3名宿泊し、夜間警備員2名を加えた計9人で24時間寮生の生活を見守っています。その他、事務、清掃、ランドリー、調理、学習監督の各スタッフ計約100人が寮運営に携わっています。

Q4 土日や長期休暇中の帰省はどうなっていますか。自宅が遠方の場合、迎えに行く必要はありますか。

A4 翌日が休日であれば原則としてその前日に帰省をすることは自由です。一方、夏季・冬季・春季には閉寮期間がありますので、部活動などの例外を除き必ず帰省してもらいます。自宅が遠方の生徒も多数いますので、中学生でも友人たちと連れだって、自分たちだけで往復していることも多いようです。

Q5 簡単に帰省できない遠方からの寮生は土日には何をしていますか。

A5 休日も活動している部活に入れば土日にも練習や試合をしています。また、それ以外の生徒についても、入学後すぐに当地での生活に慣れ、友達と買い物に出かけたり自宅生と一緒に遊んだりしているようです。日曜日に一日中寮内に残っている生徒はほとんどいません。休日は8:30~18:20(中学生)・19:00(高校生)の外出は原則として自由です。また、寮独自の行事で、スポーツレクリエーション(体験活動やボーリング大会)やバスハイク(蛭鑑賞会)、自然豊かな唐津の地での民泊体験(学年別実施)などの情操教育・気分転換になる企画も実施しています。

Q6 病気やけがが心配ですが、その場合にはどのように対応していただけるのでしょうか。

A6 寮の近くには済生会病院などの救急病院もありますが、それ以外にも内科、外科、眼科、皮膚科、耳鼻科、歯科などたくさんのクリニックがあります。また、車で10分の場所にはヘリポートを備えた唐津赤十字病院があります。通常はまず寮のスタッフが学校医の病院に連れて行き、その後医師の指示に従って寮内の保健室で休養させるなど様子を見ます。食事も病人用の食事を準備してもらいます。また、インフルエンザなどの感染症に罹った場合には、保護者に迎えに来ていただくことが基本ですが、自宅が遠方の場合には寮内の個室に隔離して看病します。薬については、寮の方からの提供はできませんので、各自で準備・自己管理をしてもらいます。

Q7 食事の好き嫌いが多いのですが大丈夫でしょうか。

A7 食堂には管理栄養士が2名勤務しており、栄養のバランスを考え、できるだけ地元の食材を使った食事を提供しています。ある程度の好き嫌いには仕方のないことですが、嫌いなものは最初から食べないという姿勢ではなく、寮生活の中で少しでも好き嫌いをなくそうという気持ちを持って欲しいものです。

Q8 アレルギー体質ですが食事の対応はどうなっていますか。

A8 650人を超える寮生が生活する中で、3食を提供する立場から個々に応じたアレルギー対応の食事の提供や、成分表示・加工品(パン、火腿、チクワ等)の原材料レベルまでの情報提供はできません。お子さまが献立表などをもとに自分で判断して食べ残すことができれば問題ありませんが、それ以上となると寮生活は難しいと思います。

Q9 洗濯は自分でするのですか。また、清掃はどうですか。

A9 下着や体操服など日常の洗濯ものはランドリースタッフが行っています。洗濯ネットに入れ、登校前に専用ボックスに入れておけば、部屋にスタッフが洗濯・乾燥まで行い、下校までにたたんで個人のボックスに戻しておきます。また、週2回はクリーニング業者が集荷・配達に来ますので、手軽に利用することができます(有料)。清掃は共有スペースについては専用のスタッフさんにしていただきますが、居室内は自分たちで掃除機やローラー式の粘着テープを使って行っています。

Q10 携帯電話の持ち込みは可能ですか。

A10 携帯電話はフィルタリングをかけることを条件に許可しています。ただし、スマートフォン持ち込みについては、トラブルに巻き込まれたり、ゲームアプリを利用したりなど、生活環境や学習環境に支障をきたしている状況がありましたので、現在は中学 1・2 年生のスマートフォン持ち込みを禁止しています。

携帯電話は、“夜間預かり”をはじめとしたいくつかのルールがあり、それに違反したときは持込の許可を取り消すなどの指導を行うこともあります。

Q11 パソコンの持ち込みは可能ですか。

A11 パソコンの持ち込みは申請を行った上で、許可しています。また、中学校 1 年生～高校 1 年生までは基本的に集団学習室で学習時間外のみ使用を許可しています（学習室ではワイヤーで学習机に固定して、管理することになっています）。高校 2 年生からは個室となるため、自己管理です。ただし、夜間の時間帯にはネット接続の遮断を行います。携帯電話と同様、使用状況が良くないと判断した場合は、持込の許可を取り消します。

※ネット接続環境（持ち込み可能な OS が決められていること、ネット接続の速度、閲覧できるサイトの制限、夜間の時間帯にはネット接続を遮断）については、制限があることをご理解いただいたうえで持ち込みとなります。また、許可の後、パソコンを一端お預かりしてネット接続設定を行っています。通信学習等で持ち込みをされる場合は、設定期間も考慮して、受講計画を立てて頂きますようお願いいたします。

Q12 タブレットの持ち込みは可能ですか。

A12 本校では学校 iPad を貸与しています。そのため、追加での個人タブレットの持ち込みは禁止しています。ただし、塾専用タブレットの場合は寮務部へ相談してください（通信環境等の理由で接続できない可能性があります）。

Q13 ゲーム機やマンガ本、カード類は持ち込めますか。

A11 上記のものは一切持ち込み禁止になっています。隠れて持ち込んだ場合には保護者に返送することもあります。また、集団生活ということ considers、スピーカータイプの音楽再生機器や楽器も原則として持ち込みを禁止しています。

Q14 寮生活の中でいじめなどはありますか。

A12 650 人以上の中高生が生活をする場ではさまざまなトラブルが発生します。簡単に解決するものもあれば、そうでないものもあります。本寮では、教員が交替で寮に宿泊していますので学校生活・寮生活と生徒を連続的に観察、指導することが可能です。少しでも小さいうちにトラブルの芽を摘めるよう、学校や寮での面談・アンケートなどを通して寮生の様子に気を配っています。

Q15 学習時間は自分たちだけで自習するのですか。

A13 自学自習を基本としています。学習時間は日課通りの通り定められており、定時になると週番が点呼をとって学習を開始します。中学 1 年から高校 1 年までは集団学習室、高校 2 年・3 年は個室での学習となりますが、学習時間中は、寮主任の先生やそれぞれに配置された学習監督スタッフが巡回し、学習態度に問題のある生徒については日誌で報告を受け、適宜指導します。また、学習時間に合わせて 5 名程度の大学生が交替で来館しており、学習中に生じた疑問点の解決（質問対応）に当たっています。

Q16 ICT を活用した学習は可能ですか。

A14 可能です。中高生ともに学校から貸与している iPad を 1 人 1 台所有し、学校からの各種連絡や学習面での ICT 活用を促しています。また、個人で持ち込んだパソコンについても高校生からは申請があれば許可しています。しかしながら、適切に使用せず、巡回の教員やスタッフに注意を受ける生徒もしばしば見受けられます。タブレットやパソコン、スマートフォン等を介したインターネットの使用についてはぜひご家庭でもお子様との会話に挙げていただき、ご指導いただければと思います。

Q17 習い事をしているのですが、それを続けることはできますか。

A15 門限時刻は中学生 18:20、高校生 19:00 です。それまでに、帰寮できるのであれば可能です。実際に、土曜日、日曜日を利用して習い事（通塾）している生徒はいます。

高校生は、通塾のために門限の変更を許可する場合があります。ただし、帰寮時刻によっては、食事が用意できません。

Q18 途中入寮は可能ですか。また、入寮せずに下宿や 1 人暮らしをすることはできますか。

A16 部屋に余裕があれば途中入寮や再入寮は可能ですが、寮費は半年単位での納入になりますのでご注意ください。下宿については 3 親等以内の親族宅なら可能です。また、高校生で一定の基準を満たす附設寮生においては、高 2 以降、提携寮（ドミー九大学研都市）へ入寮し、そこから通学することを認めます。

Q19 お金の管理はどうなっていますか。キャッシュカード等を持たせるのでしょうか。

A17 キャッシュカードは持ち込まないように指導しています。「お小遣い口座」というシステムがあり、お子様名で「八太郎館」お小遣い口座に振り込んで頂き、お小遣いが必要な時に寮内伝票を使って生徒が引き出します。週一回の引き出し可能額は中学生 2 千円、高校生 3 千円までです。また、医療費などの緊急の支出にも、この口座で対応しています。出金状況につきましては、学期末に保護者様へお知らせいたします。

※お答えしている内容には、来年度へ向けて検討しているものもありますので、変更の可能性もあります。また、現在は新型コロナウイルス感染症予防のため、各種制限をかけております。